

令和8年度 青ヶ島小中学校 学校全体で取り組む「授業改善の視点」

青ヶ島小中学校 学校経営方針 学習指導の要点

- ・児童・生徒の能力に応じた個別最適な学びを保証する
- ・早期に児童・生徒の学習状況の課題を把握し、授業改善を行う
- ・地域人材、外部講師を活用し、学びへの好奇心や探究心を高める

- ・「特別の教科 道徳」を要として問題解決的な学びと議論を推進する
- ・ICTの利点を理解し、効果的に授業に活用する
- ・協働的な活動を通して多様な価値観に触れさせ、視野を大きく広げる

自立した学習者の育成

～「デジタルを活用したこれからの学び」を通して～

目指す姿

- 自立した学習者
↓
主体的に学習に
取り組む児童・生徒
- ・課題意識と見通しをもって学習に取り組もうとする児童・生徒
 - ・自身にあった学習方法を選び、デジタルを活用したり他者と協働したりして課題を解決しようとする児童・生徒
 - ・自身の学びを振り返るとともに、自身の学びを自己調整する児童・生徒

授業時数特例校としての取り組み

青ヶ島の地域特性を最大限に活かした教育課程を編成

目指す姿

- ・青ヶ島ならではの特色を深く理解し、青ヶ島を語ることができる児童・生徒
- ・青ヶ島の自然を肌で感じ、持続可能な社会について考察できる児童・生徒



6つの実践方針を軸に、
授業改善を図ります



子供が自ら学習を調整する「個別最適な学び」の実現

例 子供が自分のペースで学習を進める時間（学びの時間）を確保する

主体的に取り組むようになる課題設定と問題解決的な学習の推進

例 子供たちの疑問を引き出す発問や、課題設定を行う機会を積極的に設ける

協働的な活動とデジタル活用による思考の交流と深化

例 子供がICTで作成・編集等を行いながら合意形成を図る場面を充実させる

学びのプロセス全体を通じた自己調整能力の育成

例 子供が学習内容だけでなく、学習方法の振り返りを行う場を設ける

思考スキルと思考ツールの活用による論理的・批判的思考力の育成

例 子供が書籍やWebサイトなどの資料から情報を整理・分析する活動を行う

デジタルを活用した新しい授業デザインと教材開発の推進

例 教員がICTの利点を理解し、教材開発を積極的に行って授業に活用する

「青ヶ島を語る力」を 育てる活動を推進します



青ヶ島を題材にした探究テーマを児童・生徒が設定し、総合的な学習の時間を使い探究していく。その際に、地域住民や専門家を講師として招き、青ヶ島の自然・文化・歴史及び平和について多角的な学習を実施していく。また探究した内容を発表や作品にまとめ、郷土理解と郷土愛を深めるとともに、発信力を高める教育を推進していく。

「のうえん青ヶ島」を活用した 農業体験活動を推進します



青ヶ島の暮らしを支える農業について、「のうえん青ヶ島」を積極的に活用していく。かんも（サツマイモ）という郷土に根ざした作物を育てることで、多様な見方・考え方を育てるとともに、体験的な学習を展開し、自然との共生や持続可能な社会について考察する態度を養う。また、積極的に地域人材を活用した教育活動を展開することで、地域に根差したコミュニティスクールの取り組みも推進していく。

デジタルを活用しながら、特色のある活動を通して児童・生徒が主体的に学びに取り組む環境づくりを実施していく